# 平成26年度上期 電力需給状況

### 需要の概要

平成26年度上期の販売電力量は、128億6千7百万和ワット時、 前年比 94.7%となった。

#### 〔需要の内訳〕

家庭用などの「電灯」は、夏季の気温が低めに推移し たことによる冷房需要の減や節電による影響などから、 前年比 93.2%となった。

事務所ビル・大型商店などの「業務用電力」は、電灯 と同様、気温や節電の影響などから、前年比 93.6%と なった。

産業用の「大口電力」は、繊維や紙・パルプ、化学が 前年を下回ったことなどから、前年比 97.8%となった。

IE	푳	実	

		\ ( F	<u> 17.17ロフットロラ、 %0 )</u>	
			電力量	前年比
4+0-40-44-3-3-3-3	電	灯	4,177	93.2
特定規模需要 以外の需要	電	カ	795	90.8
307 62 1102	計		4,972	92.8
	業務用電力		3,028	93.6
特定規模需要	産業用電力		4,867	97.4
(自由化対象)	うち大口電力		(3,752)	(97.8)
	計		7,895	95.9
販売電力量 計			12,867	94.7
融通			518	110.3

## 大口電力の主な産業別内訳

(百万和ワット時、%)

(百万井卯小時、%)

(百万却则小時 %)

		電力量	前年比			
		电/J里	26/上	25/下	25/上	
繊	維	159	91.0	95.2	97.8	
紙・ハ	パルプ	578	88.9	94.4	90.3	
化	学	553	93.0	99.0	100.5	
鉄	鋼	411	108.7	102.8	101.7	
機	械	935	102.2	103.7	96.2	
その	の他	1,116	99.2	97.0	97.2	
合	計	3,752	97.8	99.0	96.7	

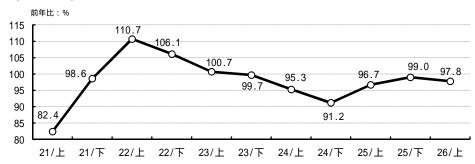
## 供給の概要

- ・ 原子力は、前年同様、伊方発電所が全号機停止している。
- ・ 水力は、前年が渇水であったことから、前年比 127.2%と なった。
- ・ 火力は、総需要の減少などから、前年比 88.9%となった。

## (参考1)販売電力量の前年比の推移



#### (参考2)大口電力の前年比の推移



#### (参考3)4県都平均気温

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実 績	10.4	14.6	19.6	23.0	27.0	26.7	23.9
平年差	0.7	0.3	0.3	0.2	0.2	1.1	0.6
前年差	0.9	0.5	0.1	0.5	1.4	2.6	0.7

# 供給実績

				( III / J   III / J   Fig. 70 /
	電力量		前年比	備考
原子力	( 0)	0	1	
水力	( 14)	2,018	127.2	
火 力	( 81)	11,897	88.9	出水率 103.0%
新エネ	( 5)	728	163.0	
発受電計	(100)	14,643	95.0	(25年度上期出水率 74.0%)
その他		80		
供 給 計		14,563	94.9	

注1.()内は構成比

注2. 四捨五入の関係で、合計が合わないことがある

#### (参考4) 各県別の需要状況

	<u>(百万キロワット時、%)</u>			
	徳島	高 知	愛 媛	香川
販売電力量 計	( 96.8)	( 94.3)	( 93.2)	( 95.1)
双地电力車 町	2,967	2,100	4,350	3,450

注.()内は前年比